

計画事業費一覧

事業実施期間 平成27年度～平成31年度

町道251号線	3億6,300万円	地域交流センター建設事業	8億5,660万円
町道739号線	1億1,000万円	図書館整備事業	4億3,330万円
町道740号線	8,500万円	まちなか活性化支援事業	2,000万円
公民館跡地ミニ公園整備事業	6,500万円	まちなかサイン整備事業	500万円
緑地公園整備事業	7,600万円	文化財管理施設整備事業	2,000万円
		都市再生整備計画等事後評価委託	200万円
総事業費		20億3,590万円	
財源内訳	国の交付金		7億1,900万円
	一般財源		13億1,690万円

池田町社会資本総合整備計画は平成26年3月議会で議決されましたので、今後、国への要望、計画の提出を経て、平成27年度から31年度の5年間で事業を実施します。

事業の実施にあたっては、用地交渉や景気動向による建設単価の上昇、事業の見直し等により、事業費や事業内容、事業箇所等が変更になる場合もありますので、その都度、議会で審議していただき実施してまいります。

計画策定の経緯

池田町社会資本総合整備計画 策定委員会

池田町社会資本総合整備計画は、平成24年度から平成25年度にかけて、公募委員を含めた22名の委員で、15回の策定委員会を開催して原案を策定しました。



町民説明会

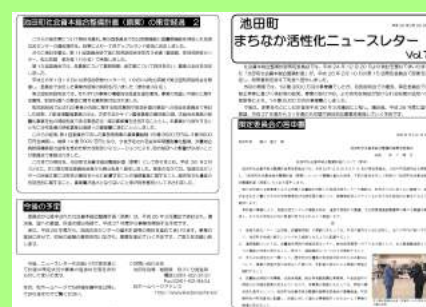
整備計画（原案）の策定に際して、町民説明会を計5会場で開催し、多くの御意見をいただきました。
策定委員会では、これら意見を踏まえて、原案の策定を行いました。



町民への情報提供

町民の皆さんのご意見を反映した計画とするために、アンケート調査、パブリックコメントの実施、広報いけだへの掲載、ニュースレターの発行を行いました。

また、委員会は原則公開とし、多くの町民が傍聴に訪れるとともに、町のホームページでも議事録などを公開しました。



◇お問い合わせ先
池田町役場 総務課 町づくり推進係
町ホームページアドレス <http://www.ikedamachi.net/>
電話：0261-62-3131 Fax：0261-62-9404

池田町社会資本総合整備計画 (概要版)

池田町のまちなか（中心街）は、行政、医療、福祉、教育の主要な機関が集積する地域であり、かつては商業施設の集積も見られたことからにぎわいを見せていましたが、現在にはにぎわいが失われてしまっています。このようななか、「アップルランド池田店」が閉店し、中心街のさらなる衰退やにぎわいの喪失が危惧されています。

そこで、町では社会資本整備総合交付金※1という国の交付金を活用してまちなかの様々な課題の解決を図るため、平成24年度から平成25年度にかけて「池田町社会資本総合整備計画※2」を策定しましたので、計画の概要をお知らせします。

※1 社会資本整備総合交付金

地域が抱える課題を自らが抽出し、解決するためのハード事業・ソフト事業を実施する際に一括して交付される国土交通省の交付金です。従来の補助金と比較して自由度が高く、市町村の独自性が活かせることが特徴です。

※2 社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施する場合には、地域が抱える課題解決のための目標設定や事業等を記載した社会資本総合整備計画を作成する必要があります。

池田町が目指す方向

「第5次総合計画」、「都市計画マスタープラン」等の上位計画に基づくとともに、まちなかの課題やアンケート結果等も参考にして、町では計画素案を作成しました。

今後、以下を基本理念・基本目標とし、まちなかの再生を目指します。

【基本理念】

景観を守り、まちのにぎわいの
再生を支援するまちづくり

【基本目標】

- 1 まちなかににぎわいの再生を支援するまちづくり
- 2 まちなかの憩いの場の創出

池田町社会資本総合整備計画

景観を守り、まちのにぎわいの
再生を支援するまちづくり

①地域交流センター 建設事業

近年、公民館活動は多様な社会に対応し、社会教育活動、生涯学習活動、図書館との一体化、弱者や子どもとの交流等を目的とすることが必要です。そこで、地域交流センターと名称を改め、様々な機能を備えた施設とする予定です。
(事業費 8億5,660万円)



老朽化の著しい池田町公民館を取り壊し、アップランド池田店舗跡地に地域交流センターを建設します

②図書館整備事業

地域交流センターと一体化した図書館を建設します。近年の図書館は、単に図書の貸し出しをする機能に留まりません。児童図書のさらなる充実、地域資料、池田町を紹介する観光資料の充実等を行い情報センター的な機能の構築も目指します。そのため、視聴覚コーナー、学習室、閲覧室等を備えた施設とし、池田町らしい図書館の構築を目指したいと考えています。
(事業費 4億3,330万円)



手狭となった町立図書館を、地域交流センターと一体化して、多様なニーズに対応できる図書館として建設します

③道路

まちなかの交通の円滑化を図るため、道路3路線の整備を計画しています。町の南部やまちなかと安曇総合病院とのアクセス性を向上させると共に、町の基幹避難所に指定され、また、各種大会が開催される総合体育館へのアクセス性を向上します。災害の際には、救援物資の輸送路の役割も果たします。
(事業費 5億5,800万円)



安曇総合病院周辺、総合体育館周辺、地域交流センター周辺に道路を新設するとともに狭隘な道路を拡幅します

④公民館跡地 ミニ公園整備事業

現公民館、教育会館を取り壊し、跡地を八幡神社と一体化した公園として整備します。まちなかの憩いの場として公園内には緑地、ベンチ、トイレ、駐車場等を設置します。
(概算事業費 6,500万円)



現在の公民館及び教育会館を取り壊しまちなかの憩いの場としてミニ公園を整備します

⑤緑地公園整備事業

豊町養鶏所跡地及び墓地の東側に緑地公園を整備します。公園内には緑地、四阿(あずまや)、トイレ、駐車場等を設けます。
(概算事業費 7,600万円)



豊町養鶏場跡地及び墓地東側を緑地公園として整備します

⑧まちなかサイン整備事業

町民や観光客が観光資源を巡るために5箇所程度、現在地、公共施設や観光資源への道順、史跡案内等を示す案内看板を設置します。
(概算事業費 500万円)



(写真はイメージです)
町民や観光客の利便を図るため、まちなかを案内するサインを整備します

⑦まちなか活性化支援事業

まちなかの商店街は、空き店舗・空き家が目立つようになり、町民アンケートでも多くの町民が課題としています。そこで、これら事業に精通した商工会が実施する空き家・空き店舗対策等の活性化事業への支援として、事業費の一部を交付します。
(概算事業費 2,000万円)



空き店舗や空き家が目立つまちなかで、商工会が実施する事業を支援します

⑥文化財管理施設整備事業

町内各所の文化財の一部は高齢化や人口減少に伴って地元での管理が難しくなっています。現在の図書館が移転した後の建物を文化財管理施設とし、文化財の保存、一部公開等を行う予定です。
(概算事業費 2,000万円)



現在の図書館を改修し、文化財管理施設として整備します